

2018年5月14日

横浜ゴム、2018年度第1四半期連結決算は増収増益 過去最高の売上収益達成

横浜ゴム（株）の2018年度第1四半期連結決算（2018年1月1日から2018年3月31日）は、売上収益が前期比2.3%増の1,492億円、事業利益[※]が同8.3%増の117億円、営業利益が同27.5%増の141億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益が同18.0%増の93億円の増収増益となり、過去最高の売上収益を達成した。なお、2017年度有価証券報告書より従来の日本基準に替えてIFRS（国際会計基準）を適用しており、前期比較もIFRSに準拠している。

※日本基準の営業利益に当たる指標として設定。事業利益＝売上収益－（売上原価＋販売費及び一般管理費）で算出。

タイヤ事業では、新車用は中国を含めたアジアが好調で、売上収益は前期を上回った。市販用は、国内では冬季の降雪が多かったこともあり、スタッドレスタイヤの新商品「iceGUARD 6（アイスガード シックス）」を中心とした冬用タイヤが好調だったが、海外においては、一部地域で前期に値上げ前の一時的な販売増があったことにより、売上収益は前期を下回った。

MB（マルチプル・ビジネス）はホース配管、工業資材が好調で売上収益は前期を上回ったが、ハマタイト・電材および航空部品は前期を下回った。

ATGは、農業機械用、産業車両用タイヤをはじめとするオフハイウェイタイヤが農業機械の需要が回復傾向にあることから新車用が好調で、売上収益は前期を上回った。

2018年度の業績予想は2月公表値を据え置き、売上収益6,700億円、事業利益630億円、営業利益600億円、親会社の所有者に帰属する当期利益400億円を計画している。

決算ハイライト

(百万円)

	2018 年度第 1 四半期 (2018.1.1~2018.3.31)	2017 年度第 1 四半期 (2017.1.1~2017.3.31)
売上収益	149,157	145,789
事業利益 [※]	11,694	10,802
営業利益	14,066	11,034
親会社の所有者に帰属する四半期利益	9,335	7,909
資本	368,617	387,752
資産	874,900	920,776
一株当たり四半期利益 (円)	58.22	49.33

事業別

(百万円)

	2018 年度第 1 四半期 (2018.1.1~2018.3.31)	2017 年度第 1 四半期 (2017.1.1~2017.3.31)
売上収益		
タイヤ	104,195	103,228
MB	26,301	25,968
ATG	16,896	14,898
その他	1,764	1,696
事業利益 [※] (▲は損失)		
タイヤ	8,040	7,532
MB	1,655	1,352
ATG	1,908	1,745
その他	81	200
消去	9	▲26

※事業利益 = 売上収益 - (売上原価 + 販売費及び一般管理費) で算出

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム (株) 広報部 担当 : 中沢、岡
 TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570